

精神看護 第6巻 総目次

2003年 1号 (= 1月), 2号 (= 3月), 3号 (= 5月), 4号 (= 7月), 5号 (= 9月), 6号 (= 11月)

表示は、題名: 著者, 号数, 開始ページ

特集

●「反社会性人格障害者」という人

精神科病院はどこまでやれるのか、やるべきなのか
「反社会性人格障害者」は医療の対象か: 滝川一廣,
1, 16.

ある重大事件を起こした人格障害者へのかかわりから
いま私たちが思っていること。そして解けない疑問:
大塚恒子, 1, 26.

反社会性人格障害者を忌み嫌うことは、医療者として
恥なのか: 春日武彦, 1, 36.

《レポート》カナダの触法精神看護システムはこう
なっていた: 三原晴美, 1, 48.

●1. いま、ここにあるセクハラ

問題にしない&させない圧力はどこからくるのか
おもいきって問題提起します。「男性患者によるセ
クハラ」、そして「セクハラ委員会の挑戦」: 岸田
紀子, 2, 20.

セクハラの問題提起に共感が得られないのはなぜ
か? 一般病棟でも起こっているセクハラ: 栗田
かほる, 2, 27.

先輩はこう思う セクハラは「インシデント、アク
シデント」にしなければダメ: 栗田育子, 2, 32.

●2. 身体の「心地良さ」を变化のきっかけに

慢性期病棟で、集団での足浴を試みて たかが足浴、
されど足浴: 天野清子・向井寛美, 2, 42.

もう下剤・浣腸には頼らない。看護の力による便
秘ケアへの挑戦: 片山美保子・安田由佳子・大坪
雅美, 2, 47.

重度心身障害児(者)への口腔ケアで、病棟から異臭
が消えた: 與那嶺末子・山川常子・當山 孝・仲
本美智子, 2, 52.

《こんな本見つけた》患者さんが「快」を体感する
必要性がわかる本『精神科養生のコツ』: 榎 明
彦, 2, 56.

痴呆老人内科混合病棟において 爪真菌症の実態に
あわせてルチンケアを見直して: 小森照美・佐
藤秀子, 2, 58.

グループ運動表現療法が、患者さんのこころをほぐ
した: 竹原厚子・井上玉弥・古川早苗, 2, 62.

●精神療法が知りたい

特集にあたって 精神療法と看護との重なりとは:
磯田雄二郎, 3, 14.

精神療法の世界のダイナミズムとおもしろさ

1. 精神分析: 妙木浩之, 3, 20.
2. 森田療法: 北西憲二, 3, 24.
3. 絵画療法: 伊集院清一, 3, 29.
4. 認知療法: 大野 裕, 3, 38.

5. サイコドラマ: 高良 聖, 3, 44.

●薬物依存症看護が「苦手」だと感じる看護職のみな さんへ

薬物依存症看護なんて大キライ?: 西村直之, 4, 14.
解毒入院の医療的枠組みをこう決めている: 松本俊
彦, 4, 28.

薬物依存者の心のなか: 富永滋也, 4, 36.

私が薬物依存症看護を続けている理由 病棟看護師
だからできることって何だろう: 須藤藍子, 4, 44.
病院と地域の間にかけ橋を 両方の場での体験か
ら、何が必要か見えてきた: 寶田 穂, 4, 50.
自助グループ当事者が短大での授業の講師になっ
たら アディクションのことは当事者に聞くのが一
番: 加藤伊千夫・米澤美貴子, 4, 56.

●その裏にある「虐待」問題

「生活コントロールグループ」が虐待経験を言語化さ
せた 増加した対応困難な患者に変化を迫られ続
けた5年間: 川崎真弓, 5, 18.

PTSD 患者に、私たちはこう対応している 患者と
ともに回復を描き続けて: 今木顕志, 5, 26.

虐待の理解から援助へ サイコエデュケーション的
アプローチが有効である: 岩井圭司, 5, 31.

虐待問題に目を向ければ対応はこんなに変わる: 大
塚淳子, 5, 36.

シェルターとしての精神科病院 「DV と虐待」から
みえる新しい地域ネットワーク機能: 信田さよ
子, 5, 43.

援助者に知っておいてほしい被虐待者を救ういくつ
かの方法: 磯谷文明, 5, 51.

●集団療法のダイナミズム

思春期・青年期の困難事例 (第25回九州集団療法
研究会より)

集団療法の必然性 第25回九州集団療法研究会の
ケース検討を振り返って: 坂口信貴, 6, 14.

激しい自殺企図をもつ摂食障害患者の看護
模索しながら患者と真剣に向き合った日々: 町田節
子, 6, 18.

治療者たちが普通に誠実でほどよく献身的であるこ
と: 松木邦裕, 6, 25.

精神科経験の浅い受け持ちナースがやりがいを得ら
れた理由: 荘野悦子, 6, 27.

行為障害 A君への支援
院内チーム医療から地域関係機関との連携・協働

へ: 帆足欣也, 6, 30.

それぞれの立場から一飯塚記念病院: 山本真理子・
山本雄一郎・西 豊子, 6, 36.

保健所のコーディネイト機能を生かしたかわり:
占部芳里, 6, 39.

衝動制御障害のA君にかかわって：高見 繁，6，44.

焦点

新薬（非定型抗精神病薬）への切り替え方 共同作業で行なう多剤併用大量療法からの処方変更：吉尾 隆，3，58.

一言で綴る看護管理のツボ 「人材管理のツボ！」足の裏からもの申します。：高橋政代，4，59.

看護管理の「思い込み」と「勘違い」からの脱却：加納佳代子，4，64.

鬱の攻撃性 わかりやすそうでわかりにくい「鬱」。その攻撃性とはどんなものなのか？：西川 勝，5，58.

精神科急性期病棟における看護量の評価方法の検討
1. なぜ今この研究が必要なのか：萱間真美・宮本有紀，6，70.

2. ケアの内容とケア量を客観的に評価する方法の開発：萱間真美・宮本有紀・沢田 秋・瀬戸屋希・松浦彩美・安保寛明，6，75.

特別記事・座談会・ニュース

【新春対談】やどかり vs. べてる 誠に勝手ながら2003年を当事者元年とさせていただきます。：谷中輝雄・向谷地生良，1，58.

【ニュース】報告。これが北海道の精神保健福祉フォーラム「あずましく暮らせる地域づくり」だ！：村中峯子，1，89.

【鼎談】疥癬冷や汗やりすぎ目ウロコ鼎談：加納佳代子・山内真知子・高橋政代，3，52.

何を伝えよう、どう伝えよう 新カリ時代の具体策
精神科実習で学生の認識が変化し行動変容するにいたった指導者のかかわり：壇原いずみ，3，78.

学生を受ける時にポイントとしていること：浦川芳輝，3，82.

【ニュース速報】早坂潔氏、「無冠の帝王」を返上，4，43.

【自著を語る】「聴くこと」の意味 看護カウンセリングと私——『看護カウンセリング第2版』：広瀬寛子，4，76.

【看護部長の喧喧諤諤】受けてよかった!? 病院機能評価：天賀谷隆・五十里瑞枝・長嶋八千子，6，54.

【特別記事】手話通訳とコミュニケーション 聞こえない人たちとのかかわりで学んだこと：加賀留美子，6，50.

研究・調査・報告

少ない文字情報と無声の映像情報からのアセスメント 精神看護学における演習方法の一試み：渡辺尚子・釜谷咲子，5，65.

乳がん合併患者の早期発見への取り組み：貝瀬芳子・橋口親之・田崎牧子・田中静子・岡村武彦・

堤 重年・堺 俊明，5，70.

連載

●性的虐待を受けた患者にいかに対応するか

②治療者側に生じる疑問・葛藤をどうするか：堀川百合子・菊池清美・橋本桂子，1，70.

③回復過程にあらわれる3つの段階：堀川百合子・菊池清美・橋本桂子・大岡由佳，2，80.

④性的虐待を超えて：菊池清美・堀川百合子，3，66.

●職場のエロス（西川 勝）

⑬咳，1，76.

⑭乾いたパン，2，86.

⑮暴れん坊將軍，3，64.

⑯色男同居人，4，82.

⑰食い逃げ松ちゃん，5，90.

⑱月夜に点す紅，6，64.

●ほ・ん・へ（ほんとうにあった変な話）

①エピソード1・2，1，78.

②やわな看護師とたくましい患者さん，2，94.

③寝なくていいから，4，91.

④精神科看護の悲しい性^{セガ}，6，68.

●ケアフルな一冊（坂田三允）

道は1本だけじゃない——『山谷崖っぶち日記』，1，81.

ラララ・ラララ・アメリカ……『ザ・フィフティーズ』『アメリカ新上流階級ボボズ』，2，93.

齢を重ねるとのこと——『文壇アイドル論』『妻の部屋』，3，86.

旅——『一号線を北上せよ』『なんじ自身のために泣け』，4，81.

しっかりしろ！ 日本人……ということなのかな？——『日本国憲法の問題点』，5，79.

罪とは……——『少年に奪われた人生』，6，69

●当事者研究（浦河べてるの家）

⑦ケンカのしかた 発展的別居のすすめ：山本賀代，1，82.

⑧生きることを阻む「こころの壁」の研究 児童虐待からの脱出：坂本愛，2，70.

⑨「幻聴さんにジャックされる人、されない人」の研究：林 園子，3，72.

⑩「逃亡」の研究 統合失調症から“逃亡失踪症”へ：荻野 仁，4，70.

⑪「爆発」の研究パートII 爆発サイン—ポジティブな「お客さん」には気をつけろ！—の研究：河崎寛，5，73.

⑫「幻聴さんにジャックされる人、されない人」の研究 パートII “くどうくどき”は食いしん坊だった：林 園子，6，82.

●宮子あずさのサイキアトリップ（宮子あずさ）

③③冤罪はこうして作られる？，1，98.

- ③②事故報告書、どうしてます？, 2, 106.
 ③③宮子はなぜ学ぶ？, 3, 94.
 ③④疑似く筒抜け体験>のキョーフ, 4, 94.
 ③⑤看護と編集, 5, 94.
 ③⑥これってうちの科ですか？, 6, 90.

●べてる新聞『ばびゅべぼ』（浦河べてるの家）

- ②⑨ 1, 100.
 ③⑩ 2, 108.
 ③⑪ 3, 96.
 ③⑫ 4, 96.
 ③⑬ 5, 96.
 ③⑭ 6, 92.

番外編

9月26日十勝沖地震の緊急レポート 6, 94.

●病院改革・野添病院の場合

- ③①病床利用率100%が実現できている理由：堀川公平・古里百合子・西野和弘・栗木克己, 2, 88.
 ③②(最終回)急性期でも開放病棟が可能な理由：堀川公平, 5, 80.

●地域 de フェルマータ！

- ③③退院したい人、手あげて：原 敏, 2, 100.
 ③④拠点とは街の中に作りたい：原 敏・小林将元, 3, 88.
 ③⑤(最終回)ピアヘルパー、訪問看護ステーション、デイケア事業をやったで!! , 4, 84.

●UPtoDATE

<新刊紹介>

ケアする側の疑問にすみずみまで答えてくれる「疥癬対策」の決定版——『疥癬はこわくない』：青柳由希子, 2, 96.

チームでナースを支える看護体制に出会えた——『固定チームナーシング事例集』：古川シズ子, 2, 98.

困ったときに開くと、ヒントがきつとある現場のお助け本——『困ったときの精神看護』：田中富美子, 3, 84.

お互いの揺らぎを活かした対人関係技術——『援助技法としてのプロセスレコード』：加納佳代子, 5, 92.

退院後を見据えたケアの大切さを教えられた——『精神科急性期看護のエッセンス』：金田明子, 5, 93.

<自著紹介>

精神障害者と家族の「はじめての入院から退院まで」を援助するケアハンドブックを作成して——『ご

家族とともに歩むためのケアハンドブック』：田上美千佳, 6, 46.

<シネマ紹介>

『天の半分』から『延安の娘』へ——『延安の娘』：武井麻子, 6, 66.

●病院版あるある小事典（山本千恵子）

- ① 3, 71.
 ② 5, 57.

●情報アンテナ ぐるりん WATCHING（是道長石・為金義博）

障害者ケアマネジメント／電気けいれん療法／立ち入り検査／オンブズマン制度／補助金の使い道, 1, 09.

医療観察法案／措置入院格差／悪性症候群／新障害者計画／救急体制不備／精神病床数／精神福祉予算, 2, 10.

長女刺殺の両親に執行猶予／「リタリン」を覚せい剤代わりに／社会的入院者の退院促進／立ち入り検査／カルテ開示規定／支援費「上限」撤廃／名古屋刑務所暴行事件, 3, 06.

市立枚方市民病院、全面開示／カルテ開示法制化見送り／福島県病院名も公表／精神保健福祉対策中間報告／新たな看護の在り方検討会／医療安全推進総合対策, 4, 10.

心神喪失者処遇法と看護の今後／精神保健福祉対策本部中間報告／生活保護／診療に関する情報提供等の在り方に関する検討会報告書, 5, 06.

精神保健福祉予算／医療計画の見直し／改善命令／マスタープラン基礎調査／池田小事件死刑判決／生活保護見直し, 6, 06.

●VOICE!

新人が入る病院のコツを教えて／新卒者に精神科看護のプライドを伝えたい, 1, 01.

モーニング・リハビリ。でも心配が1つ……／心理の先生の困った「抱え込み問題」, 2, 01.

身内の入院で知った精神医療の貧しさ／親族が無理矢理退院させてしまった, 3, 01.

『狂気の王国』がおすすめ／職員募集で200万円かけて学校めぐり, 4, 01.

私が精神科看護師として幸せを感じるとき／心地良さを大事にする病院が増えたらいいな／2002年11月号「焦点」を読んで, 5, 01.

「心神喪失者等医療観察法案」特集で病者の意見を／癒し系「闇の婦長」／精神科看護のスペシャリストをめざして, 6, 01.